



町田真之介氏

経営概要

町田 真之介

◆代表者・所在地

町田 真之介 高知県高岡郡中土佐町

◆経営規模

ミニトマト（施設）44a

◆従業員数

常時雇用2名、臨時雇用者8名

◆事業内容

ミニトマト（施設）の生産・販売を行う。

1 現状と相談までの経緯

平成29年に就農し、ミニトマト栽培に取り組む。令和3年には、経営規模を22aから44aに拡大し売上げが増加した。一方、規模拡大に伴い、販路開拓の必要性を感じ、対外的な信用力を向上させるため、法人化を検討するようになった。

そうした中、普及指導センター（農業経営・就農支援センターのサテライト窓口）の普及指導員に相談した。

2 相談内容

法人化を検討しており、情報収集を行っているが、**専門家から法人化のメリットやデメリットなどの詳しい話を聞きたい。**

また、法人化した場合の経営収支について、経営シミュレーションを行い、**法人化をより具体的に検討したい。**

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

法人設立に向け、経営診断の実施、経営シミュレーションなどの支援が必要であることから、**専門家による経営分析**を踏まえ、経営戦略会議において法人設立に向けた**支援チームを編成し、支援計画等を策定**した。

■専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、経営専属スタッフを中心となり、専門家と調整を実施。相談者の経営の法人化を図るため、**税理士の派遣により、法人設立に向けた支援を実施**した。

・法人形態・税務会計の助言（税理士）

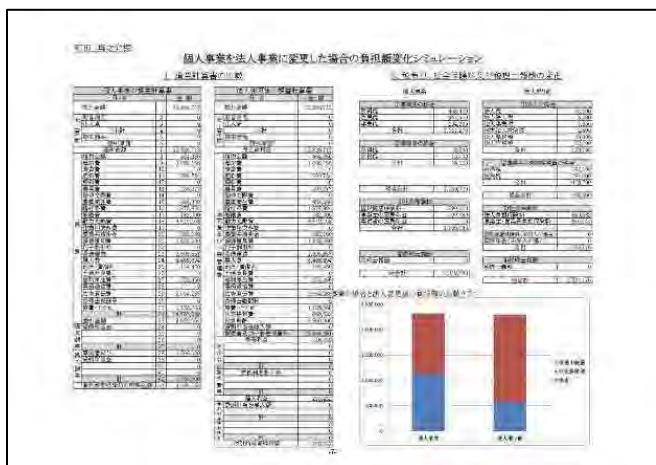
株式会社や合同会社等の法人形態の相違点及び事例の提示、経営シミュレーションにより、現在の経営を法人化した際の経費等の変化を可視化させ、法人経営のイメージづくりに関する取組を行った。

・法人化のメリット等の助言（経営専属スタッフ）

法人化によるメリットやデメリット、法人設立に向けたスケジュール、具体的な手続きに関する助言を行った。

支援チーム構成員：

税理士、普及指導員、
農業経営・就農支援センター経営専属スタッフ



経営シミュレーションにより、法人設立後の経営を可視化

■支援を受けて・・・

法人化に向けた準備を進めており、**令和5年8月に法人を設立**する予定である。

■今後の経営展開

法人経営に移行に際しては、作型と会計年度を合わせることとしており、経営収支が分かりやすくなり、収益向上に向けた取組が進めやすくなることを期待している。

また、農閑期（7～8月）に他品目を組み合わせるなど、周年雇用ができる栽培体系の確立と法人化による労働環境の改善による雇用の安定化を図りたい。

将来的には、信用力向上等を背景とした販路拡大を進め、更なる経営規模の拡大も検討していきたい。



ミニトマトの出荷調製作業の様子

喜びの声

経営シミュレーションにより、法人化した際の社会保険料の負担額などをイメージすることができ、自身の経営においては、法人化による経費の増加は大きくないことが分かりました。

対外的な信用力の向上などのメリットが大きいと感じることができ、法人化を具体的に考えるのに非常に参考になりました。

専属スタッフ所感

地元を盛り上げたいという思いで中土佐町へ戻ってから、トマト栽培をはじめられ、経営内容は非常に優秀で、地域の中心的な担い手として活躍されています。

法人設立後は、従業員の労働環境整備をはじめとする労務強化などが、今後の課題となるため、引き続き支援をしていきたいです。

<支援機関> 高知県農業経営・就農支援センター

組織概要

■相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号
高知県庁 西庁舎3階
(一社)高知県農業会議

電話番号：088-824-8555

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8：30～12：00 13：00～17：00



(一社)高知県農業会議入口
(高知県庁西庁舎)

農業経営の法人化、経営継承、規模拡大、6次産業化、販路拡大、会計・経理、労務管理など、農業者の多様な課題に対応するため、相談対応や専門家による経営診断・派遣対応を行っています。